



川崎市重症心身障害児(者)を守る会

〒214-0014 川崎市多摩区登戸 2981 サポートセンター ロンド内

tel (携帯) 090-4719-6369 FAX 044-930-0128

2005.2.20 会報 第2号

梅の花が寒空の中で、見事に咲き誇っていました。冷たい風の中でもしっかりと咲いている姿を見てみると、少し、勇気付けられたような気分になりました。

早いもので、川崎市重心守る会の設立から1年が経とうとしています。皆様のご協力でここまで活動を継続できたことを感謝すると共に、今後とも更なるご協力をよろしくお願いします。

積み残した課題も多く、今後の課題として取り組みたいと思います。特に、今年の10月から医療費負担額の変更と、新たな福祉制度に向かって障害者を取り巻く大きな環境の変化が始まります。

川崎市重心守る会では、こうしためまぐるしい変化の流れをしっかりと捉え、情報を伝える役割が大事な活動と考えています。

弱い立場の者が孤立することの無いよう、しっかり手をつないでいきたいと思っています。

インフルエンザが流行していますが、春ももう、そこまで来ています。身体に気をつけて過ごしましょう。

(山崎)

重症心身障害児(者)施設 ソレイユ川崎見学会報告

去る2月3日ソレイユ川崎の見学会が行われました。

寒波の余韻残る中にもかかわらず、92名もの参加があり一階のオープンスペースに準備された席がぎっしり埋まり急きょ別室からイスをご準備頂く程でした。南部から参加された方も多く川崎にはじめて出来る重心施設ソレイユ川崎への関心と期待の高さが感じられました。

始めに三篠会の理事長と川崎重心守る会会長よりご挨拶があり、その後2グループに別れ施設内を見学して回りました。

居室は透明なボードで仕切れ廻りを見渡せる工夫がされているので、フロア全体がとても明るい雰囲気でした。窓からはゴルフ場の木々が望め、屋上に行くと広いスペースが心地よく、このまま日向ぼっこしていたいね…という声があちこちで聞かれました。

まだ、備品など入っていないものの、浴室には機械浴の浴槽も設置されており、調理室には最新式の調理機材や洗浄消毒機材が設置されていました。

1階には事務所から診察室・歯科診療室などが続き、広い廊下には手すりが上下2段両側に取り付けてありました。外来診療の開始にあたり、廊下へのソファの設置など検討して下さるとの事でした。





ゆっくり見学をさせて頂いた後、参加された皆さんからの質問に答えて頂きました。

- 開所式 3月25日 ・開設予定 4月1日
- 入所希望者については2月いっぱいまで面談が終わり、3月には医師・児童相談所・三篠会で検討し3月末には結果を通知。
- 短期入所（ショートステイ）開始時期は入所の状況によって検討
- デイサービスの開始は10月予定 定員15名
- 職員体制については、オープン時入所者50名予定で、医師3名・相談員2名・PT・OT・音楽療法士 合わせて4名・看護師13名以上 介護職は看護師の人数により決定する予定。
- 外来診療5月18日開始 毎週水曜日 江川 Dr。
- 訪問リハビリ開設予定だが時期は検討中。
- 入所者個々の細かな用品に関しては要望によって検討する予定。
(ベッドなどご本人に合うものを選べるよう種類を準備している)
短期入所の方に関しても、安心して利用出来るよう個別に対応を検討していく。
- 畳の用意はしているが、要望のでた高床式の畳については、検討したい。

最後に理事長から皆さんに看護師がまだ不足しており、ご協力の呼びかけがありました。
問い合わせ等は ソレイユ川崎959-3003まで。

- これまでの施設のイメージと違い、明るく天井も高く、木の素材が多く使われており、4人部屋とはいえ、居室らしい配慮がされていた。
- ナースステーションから見渡せない奥の部屋があり、モニター等を使用する予定は今のところないとありますが、発作などの発見の遅れ等に関して不安を抱いた。
- 長く念願として来た重心施設が出来上がったことがとても嬉しかった。
- これまでの守る会に対してもそうでしたが、三篠会の理事長はじめ職員の皆さんが当事者家族の話しを聞く姿勢を持ってくださり、このような見学会も開催して下さり共に歩む今後に希望を感じています。
- これから入所者や利用者と職員さん、父母、守る会、地域で年数を掛けてコミュニケーションをとり、連携を保ちながら、良い施設に育てて行くことが望みです。

会員継続のお願いと入会のお誘い



『ものを云えぬ重い障害を持った子供たち』は、今置かれた環境にやむを得なく甘んじています。支援者や家族たちは、何を要求しているのか、何がしたいのか、何がつらいか、どうしたら嬉しいのか根気強く関わることで『ものを云えぬ重い障害を持った子供たち』も根気強く自分の意思を発信し続けてくれます。

その関係を通して少しずつコミュニケーションが取れるようになります。

聞く側が徹底的に相手の意思を聞こうとする態度が無ければコミュニケーションは成り立ちません。

『ものを云えぬ重い障害を持った子供たち』が私たちに教えてくれるのは、徹底的に相手の意思を聞こうとする態度が必要だということです。

そうすることで、彼等の『伝えたい』という意思が分るようになってきます。

本来、人のコミュニケーションとは言葉上のやり取りだけではなく、『相手が何を伝えたいか』という前提に立っていなくては成り立たないものだということを『ものを云えぬ重い障害を持った子供たち』は教えてくれます。

今、国会に提出された『障害者自立支援給付法』は、こうしたコミュニケーションはあったのでしょうか？

障害当事者だけのことを要求すれば『無いものねだり』になり、制度を作る側の事情を尊重しすぎれば『ほどこし』になってしまいます。

24時間介護におわれ、情報を得る余裕も無ければ、じっくり考える余裕も無い在宅の当事者、家族の方が大勢いらっしゃいます。

私たち『川崎市重心守る会』は“コミュニケーションの大切さ”を痛感しています。

来年度は出来る限り情報を発信し、コミュニケーションの機会を増やしていくことが重要だと感じています。

どうか、今後の活動にご協力をお願いすると共に、引き続き会員の継続をお願い致します。



ホームページ試験運用のお知らせ

『川崎市重心守る会』のホームページを作成中です。
まだ、未完成の部分が多くありますが、情報を新しいものへ順次更新する予定です。
また、ホームページをご覧頂いた方の意見等も発信できるようにする予定です。
最新の活動記録や今後の予定もお知らせするようにしますので、ご覧いただければ幸いです。

『川崎市重症心身障害児(者)を守る会』ホームページアドレス
<http://rond.jp/mamoru/>
試験運用中です・・・

* 川崎市守る会の会員と賛助会員について

正会員とは・・・重症心身障害児(者)の生活や生きる権利を守る会で基本的には保護者。
どんなに重い障害があっても、人間としての尊厳と、幸せな生涯を送れるよう
親たちも学習し、行政に働きかけて行く会です。

賛助会員とは・・・上記の親の運動に賛同して、一緒に考えていただく会員。

* 現在の会員数

正会員	33名		
賛助会員	個人	35名	法人 3名

川崎市重症心身障害児(者)を守る会	会員入会のおさそい
年会費	9600円
川崎市重症心身障害児(者)を守る会	賛助会員入会のお願い
年会費	1口 2000円
振込先	郵便局 口座番号 00230-4-111029

